

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		県河川協会参画事業						事業区分		担当	
								新規/継続	継続	事務事業No.	030103000359
								単独/補助	単独		
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課		060101	
総合計画の施策名		0301 消防・防災対策の充実						課長名		建設課	
政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり						グループ		管理グループ	
施策名		01 消防・防災対策の充実						担当者名			
手段名		03 ③消防防災拠点の確立									
		財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目		会計				項		目		事業	
01 08		01				01		02		00	
		一般会計				土木総務事業		単年度繰返し (令和 2 年度~)		期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入	
法令根拠		茨城県河川協会規約									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
【事務事業の内容】 治水事業、利水事業、河川環境整備事業及び災害復旧事業の促進を図り、あわせて水防体制を強化し、公共の安全と福祉の増進に寄与することを目的とする。 ・総会への参加 ・治水、利水、河川環境整備及び災害復旧の事業に関する調査、視察及び研修会並びに水防演習等の開催及び参加 ・その他必要な事業	【担当者が行う業務の手順】 関係組織による大会、研修会、要望活動の連絡調整及び参加 水防月間、河川愛護月間の啓蒙活動 ・水防月間横断幕 ・河川愛護月間横断幕 ・総会

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
関係組織による研修会及び要望活動	総会への参加	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	負担金額	千円	4.00	0.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
市町村・各種団体等	中小河川部会	団体	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
	水防部会	団体	27.00	27.00	27.00	27.00	27.00
	防災部会	団体	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
河川の有効な活用を実施し、住民の生活安全と関係地域の発展を図る	整備に関する要望活動	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	内訳	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
入	量	国庫支出金	千円	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	4	4	4		
		事業費計 (A)	千円	4	4	4		
		正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

03年度事業費 実績 (千円)		04年度事業費 予算 (千円)	
18 負担金補助及び交付金	4	18 負担金補助及び交付金	4
合計	4	合計	4

事務事業名	県河川協会参画事業	事務事業No.	30103000359	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 河川改修の要望書提出を期に参画した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 1級河川の早期改修、堆積土砂の浚渫等の要望が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 要望活動を通して河川改修の促進を図ることに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 整備促進に係る費用負担であるため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 河川の整備状況の実態を切実に訴えていく要望活動が必要である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 整備等の促進停滞になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 協議会・同盟会組織の目的事業が類似しているがそれぞれの組織構成が違う。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 負担金基準により運営されているため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 協議会・同盟会の参画事業である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川改修整備に対して未計画区間の事業推進について要望が上がっている。桜川改修期成同盟会と連携し国・県に対し更なる要望活動を進める。 コロナの影響によりR3年度負担金免除 土木部長及び関東地方整備局長、国交省事務次官要望実施																								
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 河川の整備状況の実態を切実に訴えていく要望活動が必要である。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持			○	×	低下		×	×	×
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持			○	×																						
低下		×	×	×																						
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>